

学校だより

わかまつ

鈴鹿市立若松小学校

No. 33

令和6年11月22日

🌀くわく🌀がやく子 🌀なび合い🌀ながる子

☆「全国学力・学習状況調査」の結果概要とその後の取組

本年5月に6年生を対象に「令和6年度全国学力・学習状況調査」が行われました。

この調査は、児童の学力学習状況を把握し、授業や生活習慣の改善に役立てることを目的としています。本校では調査実施後に全教員で採点と分析を行い、その後の指導にいかせるよう研修を重ねてきました。文部科学省の調査結果発表後に再度全教員で結果分析を行い授業改善に努めています。ご報告が大変遅くなりましたが、図書委員会の読書の取組や12月初旬には家庭学習強化週間を予定している今、次の結果をご覧ください、お子さんとご家庭での過ごし方について話していただく機会にしていだけたらと思います。よろしくお願ひ致します。

市内の共通課題として、学習や読書の時間が短く、スクリーンタイム(テレビやゲームなど画面)を見ている時間が長い傾向があります。学校運営協議会の場でも調査結果をお伝えしてご意見を頂く予定です。成果や課題を学校・家庭・地域の皆様と共有し、取組をさらに充実させていきたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。

平均正答率(%)の比較

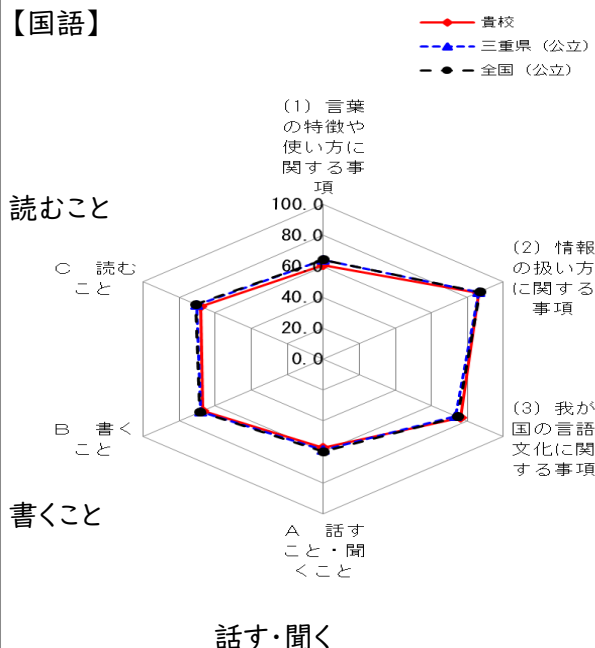
	国語	算数
三重県(公立)		
全国(公立)		

1 各教科の調査結果から

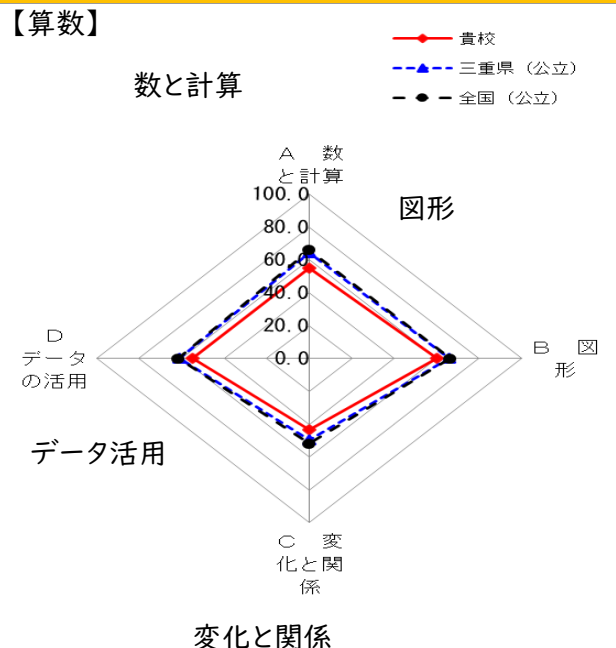
(1) 平均正答率について

(2) 内容別【国語】・領域別【算数】ごとの平均正答率の概要 (本校と全国の比較)

【国語】



【算数】



国語では、全体的に県・全国の平均正答率をやや下回っていました。中でも、「C読むこと」が全国と比べるとやや苦手な傾向が見られます。日頃から文章に親しむ機会を意識して「読み取る力」を引き続き養いたいと思います。今後もぜひ読書の取組にご協力ください。また、児童質問紙の「自分の考えが伝わるように工夫している」を見ると、肯定的な回答割合が全国と比較して()%となっていました。日頃から話す機会を増やすことと、安心して自分の考えを発表できる雰囲気づくりを、どの学年でも大切にしていきたいです。

算数では、県・全国の平均正答率を下回っていました。例えば、図形領域の「直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く」の問題では、全国比()%、()%の正答率で、無回答率が()%でした。このような苦手な問題は、6年生は3学期を中心に復習します。また1~5年生では、6年生の間違いが多かった問題を確認して、現在の学年で丁寧に指導するようにしています。

2 課題改善に向けた取組について ・ ・ 職員で話し合い取り組んでいる最中です

- これまでに習った公式や計算方法も、授業のなかで、できる限り復習して理解を深められるようにする。
- 児童が授業の「ふりかえり」を書くときに、ポイントを絞って書けるように工夫する。
- 朝の学習に加え、学校図書館を活用して読書の時間や機会を増やす。
- 家庭学習強化週間を設定して、家庭と連携して自主学習と読書の定着に取り組む など

学習時間	平日平均	2時間以上	30分以下	土・日平均
本校	分	%	%	分
三重県(公立)		%	%	
全国(公立)	分	%	%	分

〇家庭学習強化週間の取組・ ・ よろしくお願ひします。

非認知能力にかかわって ・ ・ 肯定的な回答割合

【本校】 【三重県】 【全国】

〇 やりぬく力	困った時自分で学び方を工夫している	%	%	%
〇 自制心	家の人との約束を守っている	%	%	%
〇 自己肯定感	自分にはよいところがある	%	%	%
〇 社会性	人が困っている時は進んで助けている	%	%	%

学校生活のルールを大切に過ごしている人はたくさんいます。

授業・行事・委員会・係活動など、ちょっとしたことで「やりぬく」経験を積み重ねて、「自制心」を育ててほしい。そして、その時に「よいところ見つけ」や学級通信、朝の会・帰りの会、日記などを通して、友だちや先生から「やりきったこと」や「責任をもって取り組んだこと」などを認められたい、自分のよいところに気づいていくことで、自己肯定感を高めていってほしいと思っています。

道徳や学級活動の時間に学んだ、相手のことを考えた言い方・伝え方や行動などの表現方法を日常生活の中で実践して、「社会性」を高めてほしいと願っています。今、若松小学校では、「言葉は心のエネルギー」「やさしい言葉づかいをしよう」「ストップ、友だちを傷つける言葉」などを掲示し、日頃の生活の中でよくない言葉づかいが見られたら声かけをするようにしています。

〇みんなで、あたたかい言葉で互いの良さを認め合い、高め合っていきましょう。

若松小のみんなへ これらは今を振り返るための資料です。これまで工夫してきたところは、自信をもって続け、次に何にチャレンジしてみようか ・ ・ と考える材料にして、また一緒に進んでいきましょう。